

自衛隊習志野演習地内の旧高津村の 石造物調査について

藤 由美



馬頭塚と轍として残る古道

2023年3月2日、旧高津村の村域であった自衛隊習志野演習場内の「馬頭塚」の石造物調査と演習場内の史跡見学を9名で行いました。今回の調査のきっかけは、天野和邦元会員からの、馬頭塚の庚申塔の調査記録の詳細なデータを教えてほしいという依頼からでした。

演習場内の馬頭塚は、高さ3mぐらいの円形の塚で、享保5年(1720)銘と寛政4年(1792)銘の青面金剛像庚申塔と、安政5年(1858)銘の手洗石があります。ちなみに「馬頭塚」と通称されていますが、馬頭観音塔はありません。

馬頭塚の石造物については、1998年と2004年に当会で調査を行っています。特に2004年には「旧高津村の総合研究」の一環として多くの会員と調査した思い出深い石造物で、これらの石造物については、『史談八千代』29号に故小菅敏雄会員などが「高津村域の石造物」の「石造物一覧表」にデータを、また私が「高津のムラ境を祀る民俗」にその解説と考察を書きました。

八千代市内の庚申塔記録集の自費出版を予定している天野氏から求められたこれらの庚申塔の人名などの銘文や法量などのデータは、当時の調査担当の小菅会員他の方々が見界されていて、『史談八千代』29号の掲載内容以上のことは不明でしたので、天野氏を含めて当会主催で再々度の演習場内の調査を行うことが事務局で企画されました。

特に演習場内への立ち入りは、団体として事前の許可申請が必要で、個人では不可。めったに入れない場所なので、旧高津村の史跡を含め、演習

場内の見学も調査と兼ねて会員皆さんに事務局から呼びかけていただき、新入会員も含めた見学会となりました。

当日は午後1時に習志野演習場正門に集合、習志野駐屯地広報班隊の担当隊員の先導で車を連れ、広い場内を移動して、馬頭塚へ向かいました。



庚申塔2基と手洗い石

馬頭塚の頂上には、庚申塔2基が以前のように並び、手洗石は、前あった塚の左斜面から庚申塔の直前に据えなおされていました。

石造物調査は、法量の計測と、銘文の確認、特に記録が残っていなかった台石の人名の読みを今回改めて行いました。

左側の享保の庚申塔は、総高122cm。正面に六手の青面金剛像と邪鬼、三猿を、左右面に蓮の浮彫りを施し、青面金剛像は(向かって右の)左手に輪宝・弓・羂索を、右手に三叉戟・矢と剣または金剛杵らしきものを持ち、どくろの首飾りをつけています。銘は「奉待庚申菩薩諸願成就処／享保五庚子天十月吉旦日／結衆四拾五人」でした。

右側の寛政の庚申塔は、総高143cm。六手の青面金剛像は、左手に輪宝・弓・ショケラ(人身)を、右手に三叉戟・矢・剣(上部欠損)を持ち、頭部に蛇をいだし、足下に邪鬼と三猿がありません。銘は右面に「于時寛政四年丙子十月吉旦／下総国千葉郡高津村」、左面に「高津山観音寺現住／機外恩禅叟代」、台石の4面に中村清右エ門・

石井藤兵衛・江野沢三右エ門のほか約 54 人の名前が刻まれています。台石の左面は隣の享保の庚申塔台石と接近していて数人の名前は読めませんでした。

この雄渾な青面金剛像が浮彫りされた笠付きの庚申塔 2 基は、県内でも秀逸な庚申塔です。

手洗石は、幅 99cm。正面に篆書体で「奉納」の銘、中央に 16 弁の菊花紋が大きく刻まれています。右面には「當村／世話人 江野澤惣藏／同 鈴木勝右エ門／同 岩井久兵衛／同 鈴木金左エ門」、左面には「安政五戌午年六月／高津山二十世／臥雲真龍叟」、裏面に「助化／金五十四」「同 岩井七左エ門」ほか 9 人の名前と、「石工／兵左エ門」の銘がありました。

手洗石の銘の「助化」は、禅宗の仏教用語で「教化をなす師を補佐する」とのこと。「匹」（疋・ひき）は、祝儀や寄付に使われる貨幣の単位で、400 匹が一両です。50 匹×10 人で 500 匹とすると、奉納総額は約 20 万円と想定されます。

この馬頭塚の位置は、旧高津村の高津比咩神社から三山七年祭りの神輿がまっすぐ三山へ向かう「三山道」にあり、主要道の合流点でもあり、またムラの裏鬼門（南西）に当たります。

佐倉道や検見川道と並ぶ重要な古道の「三山道」は、都市開発により習志野市内ではもう残っていませんが、演習場内では轍としてはっきりとその道が残っていました。

帰路は、場内の高津村の大六天社の祠にも寄り、また演習などの際に使われる「習武台」も車窓から眺めました。

大六天社は病を防ぐ神様として、高津の村人に勧請された神社で、現在も 4 月 13 日の縁日には参拝が許され、信仰が続けられているようです。

天候にも恵まれ、また担当自衛官の丁寧で親切な対応で、旧高津村の石造物や神社、また演習場施設の姿を身近に接することができ、参加された皆さんは充実した体験ができたようでした。

自衛隊への煩雑な手続きに尽力いただいた鈴木さん、また案内くださった自衛隊担当隊員に、厚く御礼申し上げます。